

日鉄日新ビジネスサービスがリードへ 駐輪事業を譲渡 —— 新体制に期待が集まる「理由」

自転車駐車場業界にとって大きなニュースが飛び込んできた。駐輪関連機器の総合メーカーであり、自転車駐車場工業会の認定サイクルラックを数多くラインナップする日鉄日新ビジネスサービス株式会社が、その駐輪部門を、3月1日をもって埼玉県熊谷市に本社を構える株式会社リードに事業譲渡したのだ。新体制についてリード本社で話を聞いた。



垂直昇降式、スライド式、二段式、電磁ロック式……等々、様々なタイプで自転車駐車場工業会の認定を取得し、全国各地の自転車駐車場で採用されている「日鉄日新ビジネスサービス」のサイクルラックは、この事業譲渡により今後どうなるのだろうか？ 譲渡先である株式会社リードの岩崎元治代表取締役社長、そして駐輪部門を統括するLB事業部 相澤英人営業部長（日鉄日新ビジネスサービス株式会社 建築部 駐輪チームより転籍）に話を聞くことができた。

リードは熊谷市内数カ所に工場を構え、自動車部品の生産等を行っているが、その事業のひとつとして、かねてより日鉄日新ビジネスサービスのサイクルラックの製造を請け負っていた。そのようなつながりもあり、今回、日鉄日新ビジネスサービスが駐輪部門の譲渡を検討しているという話を聞き、その受け入れを決めたのだという。「駐輪事業については、今後、駐輪機器の企画開発から製造、販売・設置まで、すべてを当社内で一貫して担うこととなります。当社の事業の中心は自動車メーカー——具体的にはスバルの自動車部品の製造であり、創業から現在まで、そしてもちろん今後もその軸足は変わりません。しかしながら、自動車メーカーから発注

を受け、要求された仕様どおりに部品を製造するのは異なり、自社で扱う製品を、全て自社内の意思で決定できる駐輪部門もまた、当社にとって非常に重要な事業になると捉えています」（岩崎氏）

その一貫体制の構築のため、今回の事業譲渡に伴い、日鉄日新ビジネスサービスから、駐輪チームに所属していたスタッフがリードへ「完全な形で」転籍している。「私達にとっても、現場のお客様の声を踏まえ、より良い製品の開発や改良のアイデアを社内ダイレクトに反映させ、実現させることのできる環境は理想的といえます」（相澤氏）

相澤氏によると、すでにリードのスタッフとは良好な意思疎通を図れる関係が構築されているようで、豊富な知見を持つ技術者との意見交換で「もうすでにいくつか興味深いアイデアを受け取っています」と手応えを口にしている。

スバル360の時代から

ここで改めて「株式会社リード」について紹介したい。1949年に創業した「岩崎板金製作所」がその前身で、現在の「株式会社リード」の商号を冠するのは1962年。翌年には東証二部に上場。1970年には樹脂成形加工を開始し、2013年に



株式会社リード 代表取締役社長 岩崎元治氏

は3000t大型樹脂成形機を2機導入するなど、現在は450t～3000tの樹脂成形機が稼働、板金、塗装と合わせさまざまな自動車用パーツの生産を行っている。スバルとは60年以上に渡る取引実績があり、古くはあの「スバル360」のドアやバンパーの製作も手掛けていたという。そして現在は前後バンパーやバンパー裏のビーム類、サイドガーニッシュなどの他、ピラー等の内装パーツ類、さらには重要保安部品であるハンドブレーキレバーなども製造しているとのこと。

まちづくりへの貢献

これら自動車関連部品の生産に関しては同社の「自動車部品事業部」が担っており、駐輪部門に関してはもう一つの事業部である「LB事業部」の管轄になるという。このLB事業部は自動車部品とは全く異なるジャンルである電子部品のラックやアンブケースなどの製造を担っており、昨年までは商店街などまちなか

■リード本社工場（自動車部品製造）



①本社工場は約57,137㎡の広大な敷地面積を誇る。②2013年に導入された電動大型樹脂成形機（3,000t）③こちらも2013年導入の油圧式大型樹脂成形機（3,000t）。前後バンパーやサイドスポイラーなど大型パーツを製造。別棟の塗装工場でも塗装もしている。④本社工場内では450t～3000tまで計15基の樹脂成形機が稼働。⑤品質管理も常に厳しく行っている。これは専用カメラを用いて内装パーツ裏のクリップが正しく取り付けられているかチェックしているところ。⑥重要保安部品であるハンドブレーキ。スバル車のハンドブレーキはすべてリードの工場ですべてアッセンブリー化されている。⑦⑧ブレーキペダル等の金属部品の成形・電着塗装もしている。

に設置される街路灯などの照明機器の設計・開発・生産も担当していたという。「明るさの確保という基本機能はもちろんですが、街路灯としてそのエリアやスポットにふさわしいデザインと、光の演出によって、まちの魅力やにぎわいを向上させるべく、オリジナル製品の設計から製造までを行っていました」（岩崎氏）

まちに必要な設備である街路灯は、まちの個性や雰囲気の演出に大きな影響を与えているのは間違いない。しかし残念ながら「LEDは長寿命なので一度設置してしまえば交換需要が発生しない」といった影響もあり、事業としては昨年3月に終了させたとのこと。

ここで、自転車駐車場業界にも通ずるキーワードが登場したことに気づく。「まちの魅力やにぎわいの向上」だ。人が集まるところに不可欠な自転車駐車場もまた、にぎわいの向上に大きく貢献する施

設だ。岩崎氏も「そこは合い通じるものを感じています」と話す。街路灯事業で培ってきた理念が、駐輪機器事業にも受け継がれ、活かされていくことになる。

東京都内に営業所を新設

もちろん観念的なことばかりでなく、自動車部品（先に触れたとおり、そこには重要保安部品も含まれる）の生産を担う同社にとって、日々のたゆまぬ品質管理はそれこそ必要不可欠なものといえるだろう。相澤氏は「製品の品質や信頼性に対する試験機器・設備の充実ぶりに驚嘆した」と話す。現状の「新和企業～日鉄日新ビジネスサービス」時代の製品ラインナップも、その品質、そして操作性の良さで定評があるが、これからは開発から製



（向かって右手前より時計回りに）岩崎元治代表取締役社長、笹生光弘執行役員 LB事業部長、末武博信 LB事業部 営業部長、相澤英人 LB事業部 営業部長

造、そしてその後のフィードバックまですべて自社で完結する新体制には、自ずと期待が集まるとういうもの。なお、駐輪部門の窓口は、ユーザーとの迅速で円滑なコミュニケーションのため、東京上野に新たに設置する「東京営業所」で対応、サポート体制も万全とのこと。同社の今後の動向に注目していきたい。 PP

株式会社リード
本社：埼玉県熊谷市弥藤吾578 / TEL：048-588-1121
東京営業所：東京都台東区東上野3-15-12 上野野本ビル10F / TEL：03-5834-3901
URL：http://www.lead.co.jp/